

**世界遺産「古都奈良の文化財」
包括的保存管理計画**

奈良県 奈良市

世界遺産「古都奈良の文化財」包括的保存管理計画

目次

第1章 計画の基本的事項	1
1.1 計画策定の目的	1
1.2 計画策定の経緯	2
1.3 計画の構成・構造	4
1.4 各種計画との関係	5
1.5 計画の実施と見直し	6
1.5.1 実施体制	6
1.5.2 計画の見直し	9
第2章 世界遺産「古都奈良の文化財」の概要	10
2.1 顕著な普遍的価値の言明	10
2.2 構成資産	14
2.2.1 構成資産一覧	14
2.2.2 構成資産の概要	19
2.3 世界遺産委員会における保全状況の審査	25
第3章 資産及びその周辺環境の現状	27
3.1 奈良市の概況	27
3.2 資産の現状	31
3.2.1 寺院及び神社の境内・宗教施設群	33
3.2.2 春日大社及び春日山原始林の神道思想に関連する文化的景観	42
3.2.3 平城宮跡の考古学的遺跡	47
3.3 周辺環境の現状	52
3.3.1 春日山周辺	55
3.3.2 元興寺周辺	56
3.3.3 西の京周辺	57

3.3.4 平城宮跡周辺	58
3.3.5 管理体制	59
3.4 計画策定の視点と方針	65
第4章 保存管理のビジョンと基本方針	68
第5章 顕著な普遍的価値の保存管理	71
5.1 顕著な普遍的価値を表す要素の明確化	71
5.2 要素の種別に応じた保存管理	77
5.3 文化財保護法、古都保存法、都市計画法、景観法等による資産に影響を 与える要因への対応	79
5.4 顕著な普遍的価値を守る人材の育成と確保	79
第6章 周辺環境との一体的な保全	80
6.1 構成資産との関係を踏まえた地域ごとの方向性の設定	80
6.2 地域住民の生活との共存	83
第7章 公開・活用の推進	84
7.1 各構成資産の特質に基づいた公開・活用	84
7.2 調査・研究の継続と成果の発信	89
第8章 モニタリング	90
第9章 包括的保存管理の充実	93
資料編 法規制図	

